

## 第4 いわき出張所

### (1) 被災者に対する健康支援

#### 1 被災者健康サポート事業【全庁重点・所重点】

借上住宅等で生活している被災者等が健康的な生活を維持できるよう、避難元市町村及びいわき市と連携しながら、健康支援活動の実施体制を整備するとともに、健康状態の悪化予防や健康不安の解消に向けた健康支援活動を実施しました。

#### (1) 仮設住宅・借上住宅等の家庭訪問

市町村からの依頼を受け、家庭訪問により、健康状態の把握を行い、健康相談、継続支援活動等を実施しました。

#### ■家庭訪問状況（市町村別）

区分	健康相談（延人数）			口腔ケア（再掲）			栄養指導（再掲）		
	仮設住宅	借上住宅	計	仮設	借上	計	仮設	借上	計
南相馬市	3	303	306	0	0	0	0	1	1
広野町	511	1	512	1	0	1	0	0	0
楡葉町	8	0	8	0	0	0	0	0	0
富岡町	13	81	94	7	11	18	2	3	5
大熊町	7	15	22	3	12	15	1	0	1
双葉町	0	18	18	0	0	0	0	0	0
浪江町	0	61	61	0	0	0	0	1	1
合計	542	479	1021	11	23	34	3	5	8

#### (2) 相双地域交流サロンの支援

平成24年度に当所が開設し平成25年度からNPO法人主催となった相双地域交流サロン（旧「小名浜交流サロン」、借上住宅居住者対象）へ専門職を派遣し、健康講話等を実施しました。

#### ■相双地域交流サロンへの専門職の派遣状況（単位：人）

開催年月	開催回数		内容	参加人数
	小名浜	常磐		
平成26年4月	1回	1回	・健康講話（長生きのための握力、体操）、歌、つばとんとんセラピー、茶話会	19
5月	—	1回	・健康講話（肝臓の働き、長生きのための握力、体操）、歌、茶話会	8
6月	1回	1回	・歯科講話（表情筋のトレーニング）、体操、歌、茶話会	14
7月	1回	1回	・健康講話（熱中症予防）、体操、歌、茶話会	25
8月	1回	1回	・健康講話（食中毒予防）、歌、茶話会	27
9月	1回	—	・健康体操、歌、茶話会	16
10月	1回	1回	・健康講話（結核予防、がん予防）、茶話会	8
11月	—	1回	・健康講話（くすりの知識）、茶話会	10
12月	1回	—	・健康講話（くすりの知識）、茶話会	9
平成27年1月	1回	1回	・健康講話（肺の働き）、体操、茶話会	18
2月	1回	1回	・健康講話（ヒートショック、アレルギー）、茶話会	17
3月	1回	1回	・健康講話（ヒートショック、アレルギー、転倒予防）、茶話会	12
合計	20回			183

(3) 市町村等主催サロン・健康相談会の支援

市町村等が実施する交流会、サロン等に、看護師、管理栄養士、歯科衛生士を派遣し、避難者の健康の保持・増進や介護予防等の活動を支援しました。

実施回数：延べ 100 回

参加人数：延べ 1,419 人

■市町村等主催サロン・健康相談会への専門職の派遣状況 (単位：人)

町名	回数	内容	参加人数
広野町	7	料理教室・歯科サロン	116
檜葉町	22	健康相談・栄養相談・歯科サロン	381
富岡町	40	健康相談・栄養相談・料理教室・栄養サロン・歯科サロン	651
大熊町	17	健康相談・栄養相談・歯科サロン	123
双葉町	14	健康相談・栄養相談・栄養サロン・歯科サロン	148
合計	100		1,419

2 被災者の心のケア事業

被災者支援を円滑に行えるよう、ふくしま心のケアセンターいわき方部センター(以下、「ふくしま心のケアセンター」という。)と会議・打ち合わせを行うとともに、被災者のPTSD(心的外傷後ストレス障害)やうつ病、アルコール問題等の心の問題に対応するため、同行訪問を行いました。

また、被災者支援に携わる生活支援相談員等の支援者自身が健康な状態を保ちながら支援活動に取り組むとともに、専門的知識や対応についての理解を深めることを目的としてふくしま心のケアセンターと共催し研修を行いました。

会議等開催回数：延べ 16 回

同行訪問回数：延べ 52 回(延べ 103 名)

研修会実施回数：2 回

■研修会の実施状況 (単位：人)

開催日	テーマ	参加者数
平成 26 年 10 月 25 日	「笑いと健康」高座&講座・笑顔で「心」について考えよう	55
平成 26 年 11 月 6 日 11 月 7 日	サイコロジカル・リカバリー・スキル研修会	34

### 3 子どもの心のケア事業【全庁重点】

発達の遅れやその疑いのある幼児へ適切な養育を行い、その保護者に対し心理的・技術的サポートをするため、子どもの心のケア事業による人材派遣を活用し「相双地域あそびの教室」を開催しました。

相双地域あそびの教室開催回数：10回

参加児数：延べ 68人

子どもの心のケア事業による人材派遣：保育士10回、臨床心理士10回、  
医師2回

#### ■相双地域あそびの教室の実施状況

開催年月日	内 容
平成26年 5月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師による相談・助言</li> <li>・臨床心理士による相談及び発達検査 (ふくしま心のケアセンター)</li> <li>・保育士による遊びの指導及び相談</li> <li>・保健師による相談</li> <li>・その他、保護者に対して養育に必要な助言</li> </ul>
6月23日	
7月28日	
8月25日	
9月29日	
10月27日	
11月17日	
12月22日	
平成27年 1月26日	
2月23日	

### 4 被災地における障がい福祉サービス基盤整備事業

#### (1) 被災した障がい児に対する医療支援事業（発達相談会）

東日本大震災により被災した障がい児（その疑いのあるものを含む。以下、「障がい児等」という。）へ児童精神科医、小児科医（以下、「医師」という。）による医療支援を行う発達相談会に同席し、個別事後フォローを行うとともに、いわき市内の支援体制や社会資源活用のための情報提供等を行いました。

参加回数：5回

受診児数：10人

#### ■発達相談会への協力状況

開催年月日	内 容
平成26年 6月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 診察 障がい児等を対象に診察を行う。</li> <li>■ 支援者に対する助言等 障がい児等の支援者（保健師等）に対し、障がい児等の支援方法について助言等を行う。</li> </ul>
7月24日	
10月16日	
12月9日	
平成27年 3月6日	

#### (2) 地域連携会議への参加(NPO法人わくわくネットいわきゆいまーる・ふたば主催)

障がい児等への相談及び療育を含む援助を行い、安心して生活するための支援を行うため、「被災した障がい児に対する相談・援助事業」を受託する事業所が、保健・福祉・学校関係者が一堂に会して開催する地域連携会議に当所も出席し、情報共有や支援方針の検討等を実施しました。

■地域連携会議への参加状況

実施日（参加日）	参加団体（随時参加の団体も含む）
平成 26 年 4 月 21 日 平成 27 年 2 月 9 日	NPO 法人わくわくネットいわき（ゆいまーる・ふたば） 希望の杜福祉会（のんびりハウス） いわき福音協会（なずなホーム） ホームヘルパー事業所（シェルパ） 福島県相談支援アドバイザー派遣事業事務局 福島県発達障がい者支援センター 福島県立富岡養護学校 双葉郡町村役場 いわき市障がい福祉課 福島県相双保健福祉事務所いわき出張所

(3) 相双地域障がい児・者支援関係者会議の開催

いわき地域に避難している障がい児・者の対応について、関係機関等が抱える問題や支援体制確保のための課題などについて、情報共有や課題検討を行うため、会議を開催しました。

■相双地域障がい児・者支援関係者会議の開催状況

実施日	参加団体（随時参加の団体も含む）
平成 26 年 4 月 21 日	希望の杜福祉会
5 月 19 日	相談支援事業所 結いの里
6 月 16 日	いわき福音協会 相談支援アドバイザー
7 月 28 日	ふくしま心のケアセンター
8 月 18 日	福島県立富岡養護学校
9 月 29 日	福島県相双保健福祉事務所いわき出張所
10 月 20 日	
11 月 17 日	
12 月 15 日	
平成 27 年 1 月 19 日	
2 月 16 日	
3 月 20 日	

(4) 双葉地方地域自立支援協議会との連携

いわき地域の課題について、双葉地方地域自立支援協議会構成機関等と情報を共有し、福祉支援体制の充実に向けて協議するため、連絡会及びくらし部会に参画しました。

■双葉地方自立支援協議会への参加状況

会議名	参加日	参加回数
自立支援協議会くらし部会	平成 26 年 7 月 18 日、9 月 8 日、 11 月 11 日、12 月 8 日、平成 27 年 1 月 14 日、2 月 9 日、3 月 2 日	7 回
自立支援協議会くらし部会 ワーキンググループ	平成 26 年 8 月 25 日、9 月 8 日、 10 月 27 日、11 月 11 日、12 月 8 日、 平成 27 年 2 月 9 日	6 回

## (2) 被災者支援に係る市町村等との連携

### 1 被災者支援に係る市町村等との連携強化事業【所重点】

#### (1) 市町村との連絡会議

##### ア 市町村との打合せ

避難者に対する健康支援活動が効果的に実施できるよう、避難元市町村及びいわき市と情報交換や課題の整理、対応策の検討等を計 44 回行いました。

また、本庁と調整を要する課題について対応するため、本庁関係課とともにいわき市を訪問し、打合せを行いました。

#### ■市町村との打合せ回数

市町村	南相馬市	広野町	檜葉町	富岡町	川内村	大熊町	双葉町	浪江町	葛尾村	いわき市	合計
回数	3	6	7	8	2	3	5	4	1	5	44

##### イ 市町村ケア会議への参加

市町村またはいわき出張所が訪問したケースについて、情報共有、今後の方針について話し合うためにケア会議に参加しました。

#### ■ケア会議の参加回数

町	広野町	檜葉町	富岡町	大熊町	双葉町	浪江町	合計
回数	6	10	11	6	13	6	52

##### ウ 保健事業担当者会議の開催

いわき地域に避難している住民への健康支援の調整を図るため、南相馬市、双葉郡町村、いわき市及びふくしま心のケアセンターなどを参集者に会議を開催しました。

#### ■保健事業担当者会議の開催状況

(単位：人)

開催年月日	議題	参加者
平成 26 年 6 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 26 年度いわき出張所における事業について</li> <li>平成 26 年度母子保健事業について</li> <li>被災者健康支援連絡会について</li> <li>ふくしま心のケアセンターいわき方部センターの活動について</li> </ul>	29
平成 26 年 11 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度保健事業予定について</li> <li>平成 27 年度母子保健事業について</li> <li>いわき地域における被災者健康支援について</li> </ul>	26
平成 27 年 2 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成 27 年度母子保健事業予定について</li> <li>保健福祉部における仮設住宅等入居者等への支援のあり方について</li> <li>いわき地域における今後の被災者健康支援について</li> </ul>	27

エ 復興公営住宅入居者支援実務者会議の開催

いわき地域の県復興公営住宅への双葉郡町村からの避難者の入居者支援について、関係者がそれぞれの役割や連携方法について確認し、健康支援に関する課題等を協議しました。

■復興公営住宅入居者支援実務者会議の開催状況 (単位：人)

開催年月日	参加団体	参加者
平成 27 年 1 月 30 日	3. 11 被災者を支援するいわき連絡協議会 富岡町社会福祉協議会いわき事業所 大熊町社会福祉協議会いわき連絡所 双葉町社会福祉協議会 富岡町役場いわき支所 大熊町役場いわき出張所 双葉町いわき事務所健康福祉課 浪江町生活支援課いわき出張所 浪江町健康保険課 福島県企画調整部地域復興課 福島県企画調整部生活拠点課 福島県保健福祉部保健福祉総務課 福島県いわき地方振興局・地域連携室 福島県相双保健福祉事務所健康福祉部 福島県相双保健福祉事務所いわき出張所	23

2 介護予防の連携

(1) 避難者支援に係る 4 町（富岡町・大熊町・双葉町及び浪江町）連携事業（介護予防等事業）

長期間の避難継続が見込まれる富岡町・大熊町・双葉町・浪江町の 4 町連携による介護予防事業の実施に向けて介護予防実務者会議を開催しました。

■介護予防関係実務者会議の開催状況 (単位：人)

開催年月日	議題	参加者
平成 26 年 7 月 29 日	・ 4 町連携によるいわき地域避難者の介護予防の取組(案)について ・ いわき地域の避難者への 4 町の取り組みについて ・ 平成 26 年度介護予防人材育成研修会実施要領(案) について	20
9 月 30 日	・ 4 町連携（相互利用）事業に当たっての具体的条件について ・ 周知方法、日程及び他町からの協力人数の調整について	18
11 月 18 日	・ 4 町連携事業の円滑な実施に向けた最終調整について ・ 支援者育成に係る今後の体制について	14
平成 27 年 2 月 17 日	・ 4 町連携（相互利用）事業実施後の評価 ・ 次年度以降の事業の方向性及び調整内容等の検討	17

(2) 人材育成

仮設住宅や借上住宅等で生活する高齢者の日常生活における生活機能の低下を予防するとともに要介護状態等になった場合においても地域で自立した日常生活が営むことができるよう支援することを目的に、介護予防人材育成研修会を開催しました。

また、人材育成研修会の参加者のうち、希望者に対し実際の介護予防事業の見学をするための調整を行いました。

■研修会実施状況

(単位：人)

開催日	テーマ	参加者
平成 26 年 11 月 5 日	講演：【行政説明】今後の介護予防事業の方向性について 【講義及び実技】 (1) 長期避難生活で起こりうる健康影響について (2) サロン活動等における観察ポイント (3) 一次予防事業での簡単な運動支援技術、自分でできる運動機能のチェック方法 講師：相双保健福祉事務所いわき出張所所長 菊地 とも子 社団医療法人養生会かしま訪問看護ステーション 理学療法士 鈴木 久美	51

(3) 相互利用の実施支援

平成 27 年 1 月から 4 町による相互利用が実施されました。利用者は人材育成研修会の参加者のうち事業見学を希望した者も含め 14 名でした。

3 各関係機関との連絡会議等の実施について

(1) 被災市町村への支援者支援

ア グループミーティングの実施

住民と直接関わる機会の多い富岡町生活支援相談員を対象に、情報を共有しつつ日頃の悩みや困りごとを話し、必要時専門職から助言・指導を行い問題解決につながるよう支援することを目的として、ふくしま心のケアセンターと協力しグループミーティングを実施しました。

富岡町生活支援相談員：7 回 延べ 49 人

イ 研修会・事例検討会の開催

被災者の避難生活の長期化に伴い、避難者の状況の変化や個々の抱える問題が深刻化している状況を踏まえ、被災者の支援に携わる支援者を対象に被災者の理解を深め適切な対応技術を習得し、さらなる支援の向上を図るために研修会を実施しました。

■研修会の実施状況

(単位：人)

開催日	テーマ	参加者
平成 26 年 12 月 9 日	平成 26 年度被災者支援に携わる精神保健福祉関係職員のための精神保健スキルアップ研修 講義・演習：「ファシリテーション・スキルの実際～みんなで元気になるコミュニケーション～」 講師：NTT 東日本関東病院精神神経科 臨床心理士 中村聡美 筑波大学医学医療系 准教授 岡田佳詠	25

(2) 相談支援専門職チーム（いわき地区）との打合せ会議

いわき地域の相談支援専門職チームが開催する打合せ会議に出席し（計 2 回）、各機関や専門職の活動状況やいわき地域での避難者の状況の把握等を行いました。

### (3) 母子保健対策の推進

#### 1 子ども健やか訪問事業

震災により、避難生活を余儀なくされている子ども（1歳児、4歳児、小学1年生）の家庭を訪問し、心身の健康に関する相談、生活・育児に関する相談等に対応することにより、子育て家庭の不安の軽減を図りました。

■子ども健やか訪問実施件数 (単位：人)

市町村	1歳児		4歳児		小学1年生		合計		実施率 (%)
	対象数	訪問実数	対象数	訪問実数	対象数	訪問実数	対象数	訪問実数	
南相馬市	11	10(13)	7	6(7)	6	6(6)	24	22(26)	92
富岡町	51	40(40)	36	31(31)	40	25(28)	127	96(99)	76
川内村	3	2(2)	1	1(1)	1	1(1)	5	4(4)	80
大熊町	50	36(36)	31	19(19)	29	15(15)	110	70(70)	64
双葉町	21	16(16)	12	8(8)	15	7(7)	48	31(31)	65
浪江町	25	18(18)	27	17(17)	13	11(11)	65	46(46)	71
合計	161	122(125)	114	82(83)	104	65(68)	379	269(276)	71

※括弧内の数値は、訪問延べ人数。

#### 2 市町村母子保健事業指導事務

##### (1) いわき市の幼児健康診査への保健師等派遣

事後支援の必要な幼児等が増えている状況を踏まえ、1歳6か月児（㉔から）及び3歳児（㉕から）健康診査において、事後支援にかかる情報を現場から把握し、各市町村と連携して適切な支援に結びつけることを目的として、保健師等の派遣を実施しました。

派遣回数：保健師 54回

■いわき市乳幼児健康診査派遣回数 (単位：回)

年度	いわき出張所派遣回数				双葉郡町村 派遣回数
	10か月児	1歳6か月児	3歳児	計	
25	—	—	79	79	—
26	—	21	33	54	104
27※	33	19	19	71	120

※平成27年度は予定回数。



(2) 事例検討会及び研修会の開催

いわき市の乳幼児健康診査への市町村保健師等の派遣に伴う資質向上のため、母子保健事業従事者のスキルアップの機会を確保し、地域の母子保健支援体制の充実を図りました。

■事例検討会実施状況

(単位：人)

開催日	テーマ	参加者
平成26年 6月24日	事例検討：母子事例2例 講師：独立行政法人国立生育医療研究センター理事、 日本小児保健協会理事、日本小児科学会監事、 Rabbit Developmental Research 平岩幹男 医師	37
平成26年 8月20日	事例検討：母子事例2例 (自閉症スペクトラム児) 講師：日本小児科学会 子どもの生活環境改善委員会副委員長 あきやま子どもクリニック 院長 秋山千枝子 医師	16

■研修会実施状況

(単位：人)

開催日	テーマ	参加者
平成27年 2月26日	乳幼児健康診査従事者研修会 講演：「発達・発育のスクリーニングの実際とその後の支援方法」～1歳6か月児、3歳児健康診査を中心に～ 講師：鳥取大学地域学部地域教育科 教授 小枝達也 氏	42

3 小児慢性特定疾患治療研究事業

小児慢性疾患のうち、治療法の確立していない特定の疾患に罹患している児童に対し、治療研究に必要な費用を交付し、患者家族の医療費の負担を軽減する事業で、当所においても申請の相談に対応しました。

申請相談件数：1件

4 不妊・不育で悩む人への支援事業

高度生殖医療（体外受精・顕微授精）による不妊治療を受けている夫婦の経済的負担を軽減するため、治療費の一部助成に係る電話及び来所相談に対応しました。

相談件数：3件

#### (4) 保健医療体制の充実

##### 1 精神保健医療費関係事業（精神障がい者の措置入院等）

精神障がいによる自傷他害のおそれ又はその疑いのある者を精神保健指定医に診察させ、その結果必要と認められる者を県立病院又は指定病院に入院させる事業ですが、双葉警察署管内で保護された者はいませんでした。

##### 2 精神訪問指導事業

精神疾患の早期治療及び精神障がい者の社会復帰の促進を図るため、精神保健福祉に関する相談対応や訪問指導を行いました。

対応件数：116件（電話相談15件、所内相談0件、訪問相談101件）

#### (5) 自殺対策の充実

##### 1 自殺対策緊急強化基金事業【所重点】

###### (1) 普及啓発事業

自殺予防に関する普及啓発を図るため、9月の自殺予防週間に、家庭訪問やサロン等において啓発資材の配布等を行いました。

配布部数：200部

###### (2) 市町村人材育成事業

被災者の健康支援等に従事する市町村や関係機関の職員を対象とした研修を開催し、担当職員の資質の向上を図りました。

##### ■研修会の実施状況

研修会名	開催日	参加者	対象
平成26年度被災者支援に携わる精神保健福祉関係職員のための精神保健スキルアップ研修会	平成26年12月9日	25名	保健師・看護師等、市町村等関係機関担当者

#### (6) 感染症対策の推進

##### 1 感染症予防対策事業【所重点】

結核等感染症に対する理解と啓発を図るため、結核予防週間に啓発活動を実施しました。

また、いわき地域における相双地域の仮設グループホーム等に対し、被災者支援の観点から感染症予防や感染拡大防止の徹底を図り、各対象施設等における被災者の健康管理の向上に資することを目的に施設指導を実施しました。

さらに、市町村からの感染症予防に関する相談等にも対応しました。

その他、新型インフルエンザ等対策として、行動計画の作成支援のほか各種会議等へ出席しました。

相談件数：1件（延べ3回）

■結核予防週間啓発活動

(単位：人)

実施年月日	実施内容	場所	参加者(配布数)
平成26年10月28日	結核健康教育	常磐地域交流サロン	8

■相双地域の仮施設等に係る被災者支援(感染症予防対策)の実施状況

実施年月日	実施場所
平成27年 2月5日～12日	仮設グループホーム及び仮設障がい者支援施設5ヶ所 (憩いの家、高原の家かわうち、ならば、せんだんの家、東洋学園)

2 結核対策推進事業

帰還している町の結核患者(LTBI[潜在性結核感染症]を含む)に対し、本所と調整し、本所の指示のもと家庭訪問を実施しました。

家庭訪問件数：1件

**(7) エイズ対策、肝炎対策の推進**

1 エイズ対策促進事業

エイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図るため、啓発活動を実施しました。

■啓発活動の実施状況

(単位：人)

実施年月日	実施内容	会場	参加者数(配布数)
平成26年 11月21日 ～12月7日	普及啓発資料の配布	相双地域から避難している高等学校、県立富岡養護学校へ配布	120

2 保健所における肝炎相談事業

肝炎の早期発見と患者・家族等の不安の軽減を図るため、電話及び来所での相談対応を行いました。

相談対応件数：1件

**(8) 難病対策**

1 難病在宅療養者支援体制整備事業【所重点】

(1) 難病患者相談指導事業

いわき地域へ避難している難病患者の在宅療養を支援するため、保健師、栄養士、歯科衛生士等による家庭訪問等相談対応を行いました。(随時)

■相談対応実施状況

- 来所相談：延べ人数 198 人 (実人数 191 人) (単位：人)

実人数	延人数	相談内容(再掲・延人数)								
		申請等	医療	家庭介護	福祉制度	就労	就学	食事栄養	歯科	その他
191	198	194	2	0	0	0	0	0	2	0

- 電話相談：延べ件数 79 件
- 家庭訪問：延べ件数 31 件 (実 24 件)

(2) 難病患者医療相談事業

疾病等に対する不安の軽減を図るため、専門の医師等による医療や療養生活に関する相談会・交流会をいわき市内で開催しました。

■医療相談事業の実施状況

(単位：人)

対象疾患	開催年月日・会場	テーマ	参加者
神経難病 対象	平成 26 年 9 月 16 日 いわき産業創造館 ラトブ	・講話「最近の神経難病についての 治療の動向」 ・ミニ講話「新しい更新申請の方法」 ・交流会と個別相談	10

※スタッフ：神経内科医師・心のケアセンター心理士・保健師・管理栄養士・歯科衛生士・難病ボランティア

2 特定疾患治療研究事業

原因が不明で治療方法が確立されていない特定疾患について、治療研究を行うとともに、医療費の自己負担の軽減を図るため、いわき地域における受給者証交付申請に関する事務を行いました。

■申請受理及び進達件数

新規	更新	転入	変更等
18	127	0	22

3 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業

患者の医療負担の軽減を図り、精神的、身体的不安の解消を図るため、いわき地域における受給者証交付申請に関する事務を行いました。

申請件数： 1 件

4 遷延性意識障がい治療研究事業

遷延性意識障がい者の医療費の負担軽減を図る事業ですが、申請はありませんでした。

**(9) 生活習慣病対策の推進**

1 禁煙・分煙の普及啓発

「世界禁煙デー」(5月30日)に、いわき合同庁舎において禁煙・分煙キャンペーンを行いました。

2 特定保健指導の実施

平成 26 年度から市町村の依頼を受けて、特定健康診査を受けた 40～74 歳の方の一部について、情報提供及び動機付け支援が必要な人へ家庭訪問又は電話指導等により特定保健指導を実施しました。

■家庭訪問等実施状況 (単位：人)

市町村	情報提供	動機付け支援
浪江町	8	20

## (10) 生活保護の適正実施

### 1 生活保護適正実施推進事業

いわき市へ避難した被保護者・要保護者等の訪問調査活動、収入資産調査及び長期入院患者実態調査等を実施しました。

訪問調査件数 : 延べ8件 (実3件)

## (11) 女性福祉の向上

### 1 配偶者暴力相談支援センターネットワーク事業

家庭や生活、就職、離婚等の女性に関わる相談への対応や関係機関との連絡調整等を行うなど、富岡福祉相談コーナーの母子・父子自立支援員兼女性相談員とともに相談対応等を行いました。

相談指導件数 : 延べ19件 (内訳「夫等からの暴力」5件、「離婚問題」9件、「求職」2件、「精神的問題」1件、「その他」2件)

※ 福島県女性保護事業実施要綱第24条に基づく業務報告による分類

## (12) 各種免許の交付

### 1 医師免許等の交付事務

医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師等医療従事者の免許申請に係る事務を行いました。

看護師免許進達件数 : 1件

准看護師免許進達等件数 : 2件

保健師免許進達件数 : 1件

薬剤師免許進達件数 : 1件

理学療法士免許進達件数 : 1件

### 2 栄養士・管理栄養士指導事業

栄養士・管理栄養士の免許申請に係る事務を行いました。

栄養士免許申請進達件数 : 1件

管理栄養士免許申請進達件数 : 1件